

平成28年美濃加茂市議会第3回定例会一般質問通告一覧

No.	議員名	質 問 要 旨
1	<p>村瀬正樹</p> <p>新生会 代表質問 (一問一答)</p>	<p>1 参議院議員選挙の投票率と次の選挙への対応について</p> <p>① 各種データを示されたい。期日前投票の全投票率に占める割合、前記を含んだ投票所別の投票率</p> <p>② 期日前投票の投票所による日数、時間数には違いがあり、買い物客の地域的なかたよりが考えられる。公平性についての見解は</p> <p>③ 選挙権年齢引き下げへの対応と結果は。次回への取り組みは</p> <p>④ 平成27年第4回定例会で趣旨採択された、市長と選管に送付された請願のその後の処理の経過及び結果を聞く</p> <p>2 本年度の事業の進捗状況について</p> <p>① 旧生物工学研究所跡地の売却についての検討や厚生会との話し合いはなされたか</p> <p>② 巨費を投入しているかわまちづくり整備事業の進み具合と広く市民に利用してもらう方策は</p> <p>③ アベマキの使い道の今後と費用対効果は</p> <p>④ 事業ではないが、教育委員に義務教育校（小、中、特、支）教員OBがいないようだが、必要ではないか</p> <p>3 自主財源を増やすための来年度予算編成と見込みについて</p> <p>① 歳入</p> <p>I 個人市民税、固定資産税を増やす一策としての、転入推進策は</p> <p>II 法人市民税を増やすための本社機能移転、市内従業員増企業訪問等への取り組みは</p> <p>III ふるさと納税が増える見込みはあるか。企業へのPRはどう取り組むか。使途として「自治会要望対応」を入れられないか</p> <p>② 歳出</p> <p>I 国保会計、後期高齢者医療会計の増大見込みと、抑える策は。高額がん治療薬「オプジーボ」の使用者数は</p> <p>II 市民の切実な願いである「自治会要望」「随時要望」への対応費を拡大できないか。とくに道路橋りょう費、防災安全費</p> <p>III 有害鳥獣対策（とくにサルとイノシシ）にはあらゆることに挑戦してもらいたいが、妙案はないか</p> <p>IV 小中学校の図書室には空調が入っていないが、温暖化の状況を考えると今後必要となりそうだが、設置の考えは。併せて普通教室の冷房使用温湿度基準や体育、部活休止の温湿度基準を伺う</p> <p>V 個人住宅の国の耐震工事補助金増の見込みがあるが、本市分の補助金増の考えは</p>

		<p>4 神奈川県障がい者施設事件を繰り返さないための取り組みについて</p> <p>① 市内施設の防犯対策（特に夜間）の実態と、今後の指導通達による改善点は</p> <p>② 幼、保、小、中、高での不審者侵入対策は現状では不十分である。避難訓練や安全サポーター配置等以外にとり得ることはないか</p>
2	<p>渡辺孝男</p> <p>真摯会 代表質問 (一問一答)</p>	<p>1 カミーノに位置づけられている5つの柱について</p> <p>① 担当部署及び目標に向けての進捗管理の方法は 各地で地方創生市民懇談会を開催し、カミーノについて市長は5つのライフステージについて説明されたが、どの部署が何を担当するのか。その所管部署と目標達成に向けての進捗状況などの管理を、どのような形及び頻度で行っているか</p> <p>② 「ライフスタイル 自分らしく生きられる。」についての具体的支援方法 「夢のチャレンジを支援、起業しやすい環境の整備」とあるが、新規就農、新商品の開発、販路拡大など具体的にどのような支援していくか。現在の進捗状況と実例、その内容</p> <p>③ 「出会い結婚 家族をつくれる。」についての具体的内容 中山道、中之島公園の他にも整備計画があるのか、また、イベントを企画、開催とあるが、具体的に何を実施するのか</p> <p>2. 消費増税の再延期について</p> <p>① 市財政運営に関して影響はないか 本市も市税の1割強を占める地方消費税交付金が少なくなり社会保障など影響が懸念されるが、本市の財政運営に関しての影響は</p> <p>② 財源不足の対応 財源不足となりうる場合の、財源確保のための取り組み、また国、県への要望活動は</p> <p>3. 長良川鉄道の今後について</p> <p>① 沿線自治体で負担金を軽減していく方法</p> <p>I 今後少子高齢化で税収が少なくなり負担金が払えなくなることも考えられるため、早急に沿線自治体と改善策を話し合う事が必要と思うが市の考えは</p> <p>II 全国の先進的な路線やその沿線自治体の取り組みを視察し運営会社に提案することも重要であるが市の考えは</p> <p>4. 国が進めている公共施設最適化事業債について</p> <p>① 国は人口減少・少子高齢化等の現状を踏まえ、公共施設の集約化、複合化を進める為に平成27年度から新たな地方債措置を創設されたが、利用する考えはあるか</p>
3	<p>渡辺益巳</p> <p>創政会 代表質問 (一問一答)</p>	<p>1 市長の公判について</p> <p>① 控訴審第4回公判、最終弁論の所見</p> <p>② 11月の公判終結に対する心境、思いは</p>

	2 (仮) 総合医療センターについて
	① 土地譲渡の内部検討委員会の立ち上げ
	② 土地価格の鑑定方法は
	③ 土地分筆の手続き
	④ 平成24年の協定書の効力は
	⑤ 譲渡先担当者とのアポイントは
	3 牧野ふれあい広場について
	① 多目的広場やその他のエリアの計画は
	② 8月に太陽光発電設置の変更その内容は
	③ 地元住民の反応は、市として了解したか
	4 里山再生プロジェクトについて
	① 里山活用の一環 森のようちえんの内容は
	② ナラ科のアベマキの活用について
	③ BEビジネス、竹を資源としてのエネルギー事業構想は
	5 多文化共生推進プランについて
	① のぞみ教室の環境改善はされたのか、就学している生徒は 何人か
	② 手狭な教室であり、古井小学校特別教室、本郷教員住宅を改修し て使用できないか
	6 子育て支援について
	① 待機児童の解消、本郷教員住宅の改修は
	② 各保育園の老朽化問題、園の統合も視野に今後の施設整備 計画は
	③ 小中学校施設整備トイレ改修
	7 DJI ジャパンについて
	① ドローンの具体的な活用方法は
	② 飛行訓練・場所・時間・経費負担は
	8 平成29年度予算編成について
	① 平成29年度予算編成の基本的考えは
	② 市税収入の今後の見通し、ふるさと納税推進による財源の 確保

4	<p>日置祥子</p> <p>日本共産党 美濃加茂市議団 代表質問 (一問一答)</p>	<p>1. 決算をふまえた来年度予算編成について</p> <p>① 国民健康保険は、2015年度から実施の国からの保険者支援金総額1,700億円で1人当たり5,000円の引き下げになると国は言っているが、それと合わせて1万円の引き下げが可能ではないか</p> <p>② 学校給食の保護者負担の軽減についての検討は</p> <p>③ 高校生までの医療費無料化についての検討は</p> <p>④ 敬老事業費の増額の実施は</p> <p>2. 介護保険（介護保険料と介護サービス）について</p> <p>① 第6期介護保険料について各段階の割合は負担能力に応じたものであると認識しているのか</p> <p>② 保険料について16段階の人（所得1,000万円以上の人）は何人か、その最高額はいくらか、また、100万円ごとの人数分布は</p> <p>③ 平成24年度から27年度までの滞納者の人数、滞納率、滞納処分の数、滞納処分の内容</p> <p>④ 2018年度に向けて削減されるサービスに対して市としての独自の対策は</p> <p>3. 牧野ふれあい広場について</p> <p>① 8月10日説明会、9月5日懇談会に案内を出した対象者は誰か、どのような基準で選定したのか</p> <p>② 県有地と市有地の交換の話の進捗状況は</p> <p>③ 平成26年度の「牧野ふれあい広場基本構想」の策定の話し合いから平成28年8月10日の変更説明会までの経緯をどのようにつかんでいたか</p> <p>④ 平成26年の話し合い、平成28年8月10日変更説明会、9月5日懇談会の際の市民の声を県にどのように届けてきたか</p>
5	<p>佐合広和</p> <p>新生会 一般質問 (一括質疑)</p>	<p>1. 飛騨・木曾川国定公園の環境整備について</p> <p>① 飛騨川の景観に支障を来している竹林等の伐採を関係機関に要望してはどうか</p> <p>2. 大量発生するキノコバエについて</p> <p>① 本市における発生状況と対策についての所見</p> <p>3. 個人財産に係る行政の対応について</p> <p>① 空き家対策と里山整備を比較した場合において、個人財産への行政の関わり方に差異があることへの所見</p>

		<p>4. ボランティア活動への支援について</p> <p>① 地道に地域で活動しているボランティア活動への支援に対する所見</p>
		<p>5. 蜂屋柿を通じた美濃加茂市のPRについて</p> <p>① カミーノアクションプランの項目の中で、蜂屋柿にまつわる歴史について、もっと多角的に情報発信する必要性と各種包装紙等にこの歴史などを印刷し観光PRすることへの所見</p>
		<p>6. 治水対策について</p> <p>① 下流部への治水対策として、上流部の学校のグラウンドを改良して溜池替りとしている一方で、従来の溜池を埋め立てていることへの所見</p>
		<p>7. 旧中山道太田宿のランドデザインについて</p> <p>① 旧中山道の活性化には地元住民の盛り上がりが必要であるが、最終的な姿について地元と合意形成された目標はあるのか</p>
6	<p>森弓子</p> <p>新生会 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1 公園等の整備及び遊具について</p> <p>① 下米田さくらの森、花見の広場の再整備を</p> <p>② 米田白山展望台からの眺めが不良なので改善を</p> <p>③ 健康の森の遊具設置と古井近隣公園の遊具改善</p> <p>④ 遊具の安全点検</p> <p>2 健康づくりについて</p> <p>① かかりつけ医の周知と特定健診</p> <p>② 関係各課の連携と地域での健康づくり、健康マイレージ制度の創設</p> <p>3 ICTリスク対策</p> <p>① 全情報システム（財務・住基・税務・マイナンバー等）の数及び予算額は</p> <p>② 情報セキュリティ（ウイルス対策・個人情報保護法等。特にマイナンバー制度の番号入力時）</p> <p>③ 人材（専門家）の育成</p> <p>4 星の街、星座モニュメントについて</p> <p>① 旧中山道へのアクセスとあわせて観光資源として活かさないか</p>

7	坂井知足 創政会 一般質問 (一問一答)	<p>1. 参議院議員選挙結果について</p> <p>① 今回の投票率に対する分析と所見 今回の参議院議員選挙(選挙区)の投票率は、59.17%と県平均の57.74%を上回り、前回の投票率50.39%を大きく上回る結果となった。この投票率に対する分析と所見は</p> <p>② 18歳・19歳の投票率 今回の参院選から選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられ、全国では約240万人が新有権者となり、岐阜県選挙区では投票率が49.01%となっている。当市の18歳・19歳の投票率は</p> <p>③ 期日前投票所における投票率 岐阜選挙区での期日前投票者数は、32万461人と県内有権者の18.81%になっている。当市の期日前投票所における投票者数は、9,863人で率は23.49%と非常に高い数値になっている。この理由と分析結果は</p> <p>④ 期日前投票所の増設 投票所が激減した一方、期日前投票所が増設され、有権者の利便性が図られ、それが投票率の向上につながっているが、今後の増設や変更の考え</p> <p>⑤ ポスター掲示場の現状 平成25年の市長選挙からポスター掲示場が、179カ所から半数以下の88カ所まで減らされている。立候補者を知る大切な機会が、半減した根拠と今後の対応</p> <p>⑥ 今後の投票率向上への対策 既存の投票所の増設ほか有権者なら誰でも投票できる「共通投票所」の設置など、今後の投票率の向上への取り組み</p> <p>2. 農業施策の推進について</p> <p>① 本市農業の現状と今後 農業は今日までの当市の発展を支えてきた基幹産業である。しかしながら、農業就業者(国勢調査)、経営耕地(農業センサス)などが減少の一途をたどっている。今後の本市の農業の将来像は</p> <p>② 農業後継者の現状と今後 第5次総合計画(後期計画)にも農業の担い手の育成と確保が施策に掲げられ、主な取り組みにUターン、Iターンなどによる就農促進や認定農業者の育成・支援が掲げられているが、現状はどうなっているのか</p> <p>③ 農業経営の安定化 本市の農業生産額は、減少傾向が続いており、農業を持続的に発展させていくための打開策が求められている。その一つとして、第1次産業に2次、3次産業の要素を加えた新たな産業(第6次産業)の推進が掲げられているが、具体的にはどういった施策が考えられているのか。また、農業経営の安定を目指した農業の受け皿づくりはどう進められているのか</p> <p>④ 産地ブランドの開発と育成 第5次総(後期)には、前期に引き続き産業振興の中に「美濃加茂ブランド」の創造が掲げられている。「堂上蜂屋柿」、「山之上的果実」のほかに産・学・官の連携のもとにどんな研究・開発が進められているのか。そしてそれは実現可能か</p> <p>⑤ 耕作放棄地の現状と活用 農業を取り巻く環境の厳しさ、農業従事者の高齢化等により、耕作放棄地は増え続けている。現状と対策は。また農地中間管理機構への貸付事業の現状は</p>
---	-----------------------------------	--

		<p>3. 牧野ふれあい広場（陸上競技場）の整備について</p> <p>① 「リオ2016オリンピック」での日本選手の活躍に対する感想等 8月5日から21日までの17日間にわたり、ブラジルのリオデジャネイロで開催されたオリンピックは、日本選手が大活躍し感動の中に閉幕したが、その感想は。また、次回開催の「2020年東京大会」に寄せる期待は</p> <p>② 牧野ふれあい広場（陸上競技場）の整備 平成25年に策定したスポーツ振興計画に基づき、平成26年度に牧野ふれあい広場基本構想が策定され、その中で多目的広場に陸上競技場が建設されることになっている。しかしながら、今年7月に岐阜県から太陽光発電施設設置の申し出があり、この陸上競技場の建設はどうなるのか。</p>
8	<p>金井文敏</p> <p>市議会公明党 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1 被災者台帳（被災者支援システム）の運用状況について</p> <p>① 災害対策基本法第90条の3第1項において、市町村長が作成することとなっているが、その導入状況は</p> <p>2 連絡所にて紙資源回収の事業化について</p> <p>① 美濃加茂市の廃棄物について、可燃ごみを燃やすのではなくリサイクルに回すための施策の現状は</p> <p>② 市民満足の向上と紙資源回収とごみ減量化のために、集積所を増やすことが重要だと考えるがどうか</p>
9	<p>酒向信幸</p> <p>創政会 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1. 子どもの学力・体力・食育について</p> <p>① 確かな学力・豊かな心・健やかな体の学力三要素に加え、今の「知識基盤社会」の時代において「生きる力」を育むという理念はますます重要になってくるが、より効果的に育成するには何が大切か</p> <p>② 学力向上に繋げるための「授業に対する意識」や「学習習慣及び基本生活習慣」の全国学力・学習状況調査の結果を各学校は分析し、どのように活かされているか</p> <p>③ 近年、子どもの体力低下が問題となっている。子どもが運動不足になった原因はスポーツや外遊びに不可欠な要素である時間、空間、仲間の減少だと思われるが、学校における指導で改善する方法はないか</p> <p>④ 国は第3次食育推進基本計画で、平成32年度までに朝食を欠食する割合を0%という目標を掲げているが、本市における推進の取り組みは</p> <p>⑤ 国が取り組む「スーパー食育スクール事業」は、栄養教師を中心に取り組む食育を通じた学力向上・健康増進など多角的効果が期待されるが、同事業についての所見は</p> <p>2. 小規模特認校制度について</p> <p>① 今年度に入ってから説明会の開催や、実際に三和小・伊深小の体験入学等に参加された方もみえたとお聞きした。9月15日から受付開始となるが、市民の理解度・関心度は</p> <p>② 受付開始後から来年度に向けて、必要な取り組みは。各学校整備や支援に関しては視野にあるか</p>

		<p>3. 地域包括ケアシステムの構築について</p> <p>① 地域包括ケアシステムの構築を目指すためには、各地域包括支援センターの機能強化がより必要となるが、各センター設置から約1年半が経過するが、これまでに見えてきた課題と今後の進め方は</p> <p>② 市、住民、関係団体などの協働による地域介護、地域ネットワークの構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握などを推進するための地域ケア会議開催の効果は</p> <p>③ 今後増加が予想される認知症高齢者に対応していくための施策は</p>
10	<p>前田孝</p> <p>日本共産党 美濃加茂市議団 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1. ふるさと納税の現状と今後の対策について</p> <p>① 平成27年度のふるさと納税金額・件数・返礼金額は</p> <p>② 平成27年度の返礼品種類件数と返礼品トップ10は</p> <p>③ 平成27年度の他の自治体への財源流出額と受け入れ額との収支状況は</p> <p>④ リピーター対策は、どのようなことをされてきたのか又今後の対応はどの様に考えているか</p> <p>⑤ 「企業版ふるさと納税」に対し、自治体の地域活性化事業についてどのような事業を計画しているか</p> <p>2. 防災行政無線受信機全戸設置の現状と計画について</p> <p>① 情報伝達システム整備の調査については、どこまで進んでいるのか</p> <p>② 今後戸別受信機設置までの計画についてどの様に進められるのか</p> <p>3. 旧生物工学研究所跡地問題の現状と今後の課題について</p> <p>① 造成工事完了後の測量面積は何筆で何㎡か又不動産鑑定評価及び売却用地面積の為の分筆は終了したのか</p> <p>② 売却について、どのような方法で行うのか</p> <p>4. 健康づくり・介護予防事業について</p> <p>① 本市の平均寿命と健康寿命は</p> <p>② 地域の健康・介護予防活動への支援について</p> <p>③ 元気づくり体操の実施について</p>

11	<p>牧田秀憲</p> <p>真摯会 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1. 美濃加茂サービスエリアについて</p> <p>① 株式会社ファームが民事再生法の適用を申請した。現在の美濃加茂サービスエリアの状況は</p> <p>② 美濃加茂サービスエリアの運営について株式会社美濃加茂ファームの株の保有状況は</p> <p>③ 美濃加茂ファームの今後の市の関わり方及び今後の予定</p> <p>2. 多文化共生について</p> <p>① 多くの団体が多文化共生について取り組みを行っているが、現在の行政の関わり方は</p> <p>② 現在フィリピンの方が大変多くなってきているが、市としての対応は</p> <p>③ 5次総合計画では、「快適でこちよく定住できるまちを作ります。」とあるが、目標値に向けての取り組みの具体的な考えは</p> <p>3. 定住外国人の子ども就学促進事業について</p> <p>① 外国人の子ども達の不就学の増加への対応が目的であるのぞみ教室では現在国から3分の1の補助しか頂いてないが、今後の全額補助申請はどうなっているか</p> <p>② 増え続ける外国人児童への対応として、日本語指導員増員と母国語の多言語化への対応できる人材確保は</p> <p>③ 発達障がいの疑いがある児童生徒への指導体制の整備は</p> <p>④ 学ぶ環境の整備について今後の見通しは</p>
12	<p>柘植宏一</p> <p>新流 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1 新庁舎建設について</p> <p>新庁舎建設は、財源、用地選定など非常に大きな課題を背負った事業となる。性急な事業推進は市を二分する対立を生じさせる可能性もあり、慎重かつ十分な準備が必要と考える。</p> <p>① 新庁舎建設を最優先課題と位置付ける理由は何か</p> <p>② 地震対策としての庁舎建設は、その他の施設等との整合性が保たれているか</p> <p>2 公共施設等総合管理計画について</p> <p>① 計画案における優先対処方針(案)において、庁舎を含め6施設が列挙されている。それぞれの方針内容は</p> <p>② 3月の素案には明記されていなかったが、7月26日の議員報告会では「ハコモノについての3大方針」が示された。その意図と内容は</p> <p>3 (仮) 総合医療センター整備事業について</p> <p>① プロポーザル方式も含め、センター用地の譲渡方法を検討し、12月議会までには土地譲渡契約を締結したいとのことであったが、進捗状況はどうか。</p>

13	<p>片桐美良</p> <p>新生会 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1. かわまちづくりについて</p> <p>① 平成27年度までの事業費の合計（国の交付金・市負担分別に）及び今後の事業費予算とスケジュールは</p> <p>② 施設等の整備はかなり進められてきたが、当初計画の河川空間とまちなか空間が一体となるような仕掛けづくり・水辺利用計画の進捗状況は</p> <p>③ まちづくり会社での運営を直轄にした理由は。BBQの形式変更の理由は</p> <p>④ オープン以降の運営スタッフについての考えは</p> <p>2. ドローン活用研究について</p> <p>① あらためて確認します。ドローン本体は寄贈なのか貸与なのか</p> <p>② 自主研究組織の構成メンバーと研修及び飛行訓練等のスケジュール計画は</p> <p>③ 中之島公園におけるドローンを活用した賑わい創出プログラムとは具体的にどのようなものか</p> <p>④ 可茂消防でのドローン活用議論はあったか</p> <p>⑤ この先、法令とは別に市の条例化も必要かと考えるが所見は</p> <p>3. 農地課税強化について</p> <p>① 今回の課税強化に対する所見</p> <p>② 農地として再生不可能とする判断基準はあるか</p> <p>③ 農地の借り受け体制は十分あるか</p> <p>④ 借り受けしていただける最低条件はあるのか</p> <p>⑤ 農地として再生不可能と判定された農地でも、課税は従来どおりなのか</p>
14	<p>高井厚</p> <p>新生会 一般質問 (一問一答)</p>	<p>1. 自然災害時に備えた水対策</p> <p>① 飲料水の安心確保 洪水であれ、渇水であれ、市内一斉断水を想定する時、飲料水の供給について不安は残らないか。</p> <p>I 配水車は足りるのか。配水場所は少なすぎないか</p> <p>II 応急給水用ろ過装置は、濾水・浄水装置が6基備えてあると聞いているが十分か</p> <p>III 濾水・浄水する水は配水池や調整池の水だが、質・量の面で問題はないか</p> <p>IV 井戸水の利用は今も考えていないのか</p>

		<p>② 生活水の確保 生活水の確保についても、配水池や調整池の水や既存の浄水装置で十分確保できるだけの量があるとの答弁があった。</p> <p>I 避難所の入浴用やトイレ用の水としても計算しているのか</p>
		<p>II また自治会として井戸を掘る場合の補助制度についてどう考えるか</p>
		<p>③ 蜂屋川の早期浚渫完了に向けて 川の氾濫はあっても、堤防の決壊や溢水による被害は何としても防ぎたい。堆積した土砂や繁茂する樹木は氾濫を助長する。ゲリラ豪雨が全国で頻発している昨今、早期の完了により手遅れを防ぎたい。</p> <p>I 市内の河川（1・2・準用）の堆積状況をどう把握しているのか</p>
		<p>II また県の今後の浚渫計画はどうなっているか</p>
		<p>④ 雨水排水路は機能するか 現在の雨水排水路は時間降雨50ミリで想定してあるようだが、場所によっては土砂が溜まっており、十分対応、機能するか懸念している。コンクリートの蓋も重く、堆積状態の見届けも除去作業も住民にとって簡単ではない状況である。ゲリラ豪雨が全国で頻発している昨今、早期の完了により手遅れを防ぎたいものである。</p> <p>I 雨水排水路土砂除去についての市の考え、対応は</p>
		<p>2. 昭和村の管理主体の今後</p>
		<p>① 入村者数と今後の対応</p> <p>I 平成15年の開園時150万人が25年には31万人と、毎年減っている入村者は、この3年どう進捗しているか</p>
		<p>II 今年の「入場者微増」の理由をどう把握しているのか</p>
		<p>III 入村者増に向けた今後の市の対応策は</p>
		<p>② 指定管理の見通し 平成25年度からMCグループが指定管理を受けているが、その年5千万円の赤字との報告があった。</p> <p>I 以後、現在までの経営状況を伺う</p>
		<p>II 平成29年度で5年目を迎えるが、指定管理を継続できそうか</p>
		<p>③ 都市公園課の動き 平成26年9月の県議会での「公園のコンセプトが利用者のニーズに合っているかも含めて、今後の公園の在り方そのものについて検討していく」という答弁報告を受けている。</p> <p>I 以後の県の動きはどうなっているか</p>
		<p>II 本市への働きかけや打診の有無</p>

		<p>3. 児童生徒の教育支援の充実</p> <p>① 市政のリーダー育成 近未来の美濃加茂市政を担っていくリーダーが育ってくれることを願っている。市政のリーダー育成を念頭に、市独自のリーダー養成合宿の実現を提言したところ、意義は大きいので検討したいとの答弁を得ている。</p> <p>I その後どのように進捗してきているのか</p> <p>II 子ども達の視野を広め、視座を高くするべく他のアイデアがあるか伺う</p> <p>② 地域活性化スクールの向上発展策 高校生たちが自身のことを社会とのつながりの中で捉え、見つめて成長してほしい。高校生が年下の子どもを指導することの他、学校の先生以外の大人や社会人から学ぶ実践は多くはない実感。</p> <p>I 活性化スクールの1年半の取り組みから、成果や改善点を伺う</p> <p>II 市役所業務における高校生向けの職場体験学習、夏休みを使ってプログラムできないものか</p> <p>③ 学習広場の今後 この事業も地域の小学校低学年の子ども達に、コミュニケーション能力の向上をはかり、社会性を身につけるといふ点で期待をしている。</p> <p>I ここ1年半の取り組みからの成果と改善点を伺う</p> <p>④ 「美濃加茂教育21」の今後 フロム0歳プランは、時流の変化に対応し、サブテーマとして弾力的に組み替えることができるようにしてある。平成23年の答弁で、15年度から21年度までを実践期、22年度から24年度までを発展期、25年度から27年度を充実期とするとあった。</p> <p>I 平成26年3月には教育振興基本計画が策定され、このプランをもとにアクションプランが示された。この答弁とどう整合しているのか</p> <p>II 先の予算決算特別委員会での、27年度の振り返りの中では、「授業改革の視点で充実を図ることが事業成果を上げるポイントだ」と記されていた。どのような手立てを考えているのか</p> <p>III サブテーマの見直しは俎上に上ってきているのか</p>
--	--	---